

研究室を飛び出し、 世界で羽ばたく。

平成24年度 文部科学省
「グローバル人材育成
推進事業」に
採択されました。

取組名 グローバル社会で活躍する理系産業人育成プログラム

京都産業大学は、すべての学部が一つのキャンパスに集中する「一拠点総合大学」。そのメリットを活かし、学部の枠を超えたプログラムを数多く提供しています。この取り組みも、そのような学部横断プログラムの一つと言えます。理系学部と外国語学部の連携によるプログラム、そしてそれらを体系的に取り入れたコースを設けることで、グローバルな舞台で積極的に挑戦し、活躍する人材の育成を図ります。

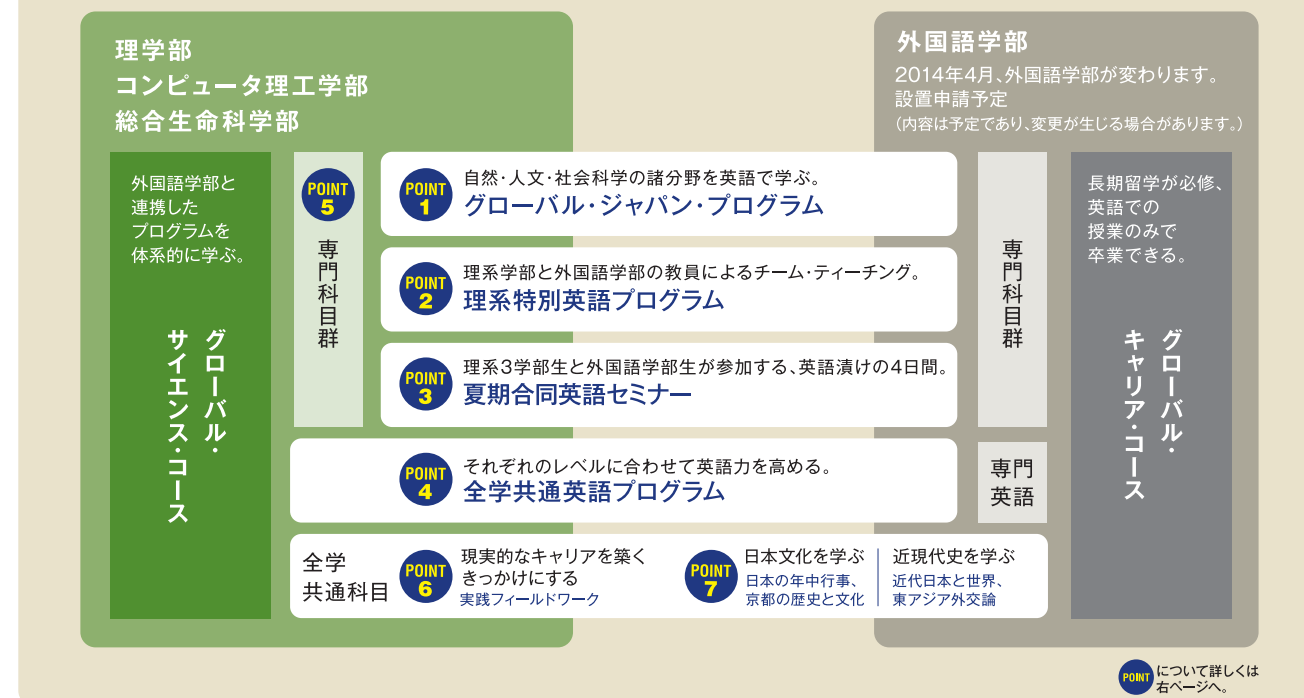
どんな取り組み？

全学共通科目※でアイデンティティを確立し、 外国語学部との連携で語学力を強化。

この取り組みではまず、すべての学生が受講できる科目やプログラムで、日本人としてのアイデンティティやチャレンジスピリット、さらに基礎的な英語力を身に付けます。加えて、理系学部と外国語学部の連携で新たに設けるプログラムによって、理系産業人にふさわしい高度な英語力と対話能力を培います。

※全学共通科目…すべての学生を対象とする科目群。幅広い領域を学びます。

理系学部と外国語学部が連携し、多彩なプログラムを展開。さらに新コースも開設。



ねらい

習得する
4つの能力

チャレンジ精神と
主体性

高い専門性

対話能力

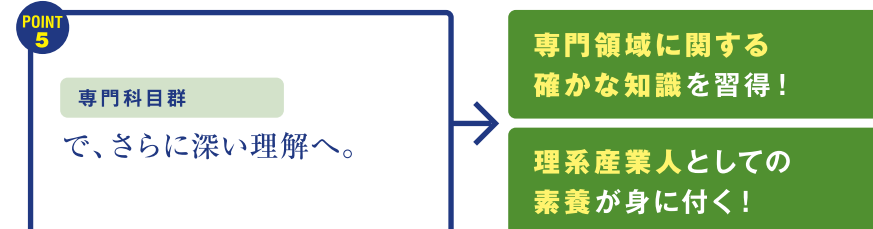
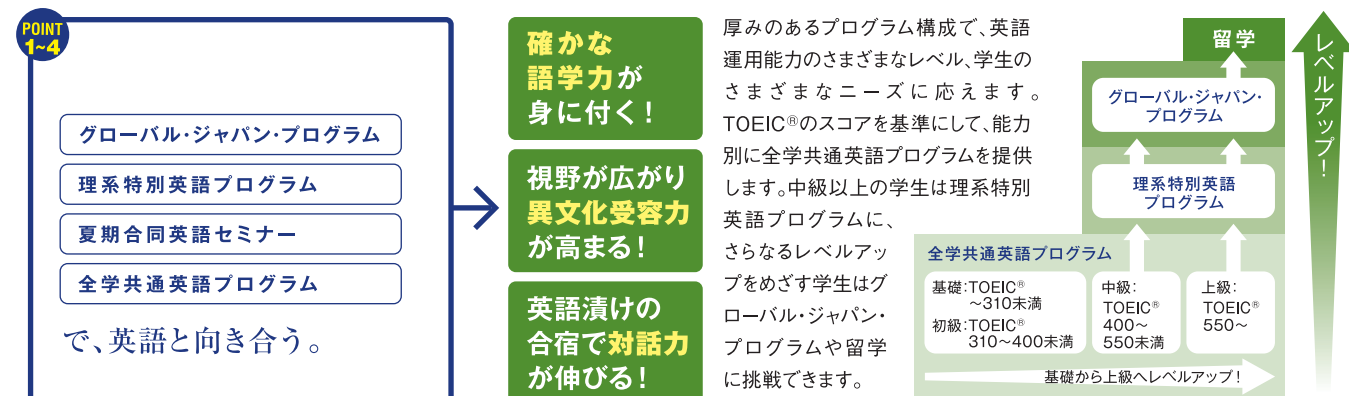
確かな
アイデンティティ

【この事業のキーワード】



得られる成果は？

語学力と専門知識を兼ね備えた、信頼される国際人に。

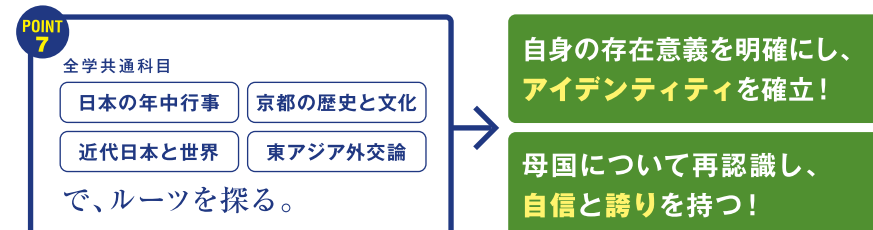


理系3学部には最先端の設備環境が整備され、先進的な教育・研究が行われています。

自然科学の奥深い世界を探究する、理学部。ITの要・プログラミング能力を高める、コンピュータ理工学部。未知なる生命を解き明かす、総合生命科学部。各学部には、バラエティに富んだ専門科目群が設けられています。それらを体系的に履修することによって、専門的な知識・能力が身に付きます。



企業見学や、職業人の方へのインタビューで、感じたこと、気づいたことをグループワーク、プレゼンテーションなどで発表し、クラスメイトとディスカッションを重ねます。こうした経験を通して自らを見つめ直し、職業キャリアを現実的にデザインするきっかけをつくります。さらに、職業人の方やクラスメイトから刺激を受け、チャレンジ精神や主体性を培います。



グローバル社会では、自信と母国への誇りを持っていることが、信頼できる人物の判断基準になります。母国の豊かな文化は、どのように生まれたか。先人たちは、日本という国をどのように築いたか。日本について学ぶことで自分自身と母国のバックボーンがわかり、自信と誇り、そしてアイデンティティの確立につながります。